



性能試験結果

■性状

構成主成分	主 剤	
	変性エポキシ樹脂	変性ポリアミドアミン
外観	無色半透明液状	黄色半透明液状
粘度(mPa.s/25℃)	700	65
比重(g/cm)	1.11	1.03
配合比	16	19

■物理的性能

製品名	モルエポ
圧縮強度(N/mm ²)	41.3
曲げ強度(N/mm ²)	13.6

■10時間煮沸試験

モルエポ	異常なし

■耐薬品性 50℃

薬品名	水	塩酸(5%)	硫酸(5%)	苛性ソーダ(5%)	仮想高濃度炭酸泉	仮想炭酸泉
判定	○	○	○	○	○	○

■耐薬品性 25℃

薬品名	水	塩酸(5%)	硫酸(5%)	炭酸ソーダ(5%)	苛性ソーダ(5%)	アンモニア水(5%)	次亜塩素酸ソーダ(6%)	クエン酸(5%)	酢酸(3%)		
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
薬品名	乳酸(3%)	塩化カルシウム(3%)	灯油	鉱油	植物油	IPA	食塩水(10%)	砂糖水(10%)	日本酒	人工海水	エタノール
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■吸水率

	モルエポ
吸水率	0.41%

■使用可能時間

冬期	約30~40分
夏期	約20~30分

■施工可能温度

5℃~35℃

荷姿

- モルエポ(主剤・硬化剤・モルエポパウダー)
 - ・5kgセット ・10kgセット ・10kgセット×2=20kg(C/S)
- EPファイン(主剤・硬化剤)
 - ・1kgセット

お願い

- ・本カタログの記載内容は、技術室の資料を基に作成し、十分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、すべての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも施工前に確認試験をされますようお願いいたします。
- ・記載商品の一部内容が、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更される場合があります。

販売代理店

 **株式会社 大建化学**
DAIKEN CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.

〒442-0835 愛知県豊川市新桜町通3-30-5
tel.0533-86-5625 fax.0533-89-1751
e-mail info@daikenkagaku.co.jp
URL http://www.daikenkagaku.co.jp

素足で自然をつかむ玉砂利の感触それが”ミニトーン”の魅力

従来からある玉砂利洗い出し工法はポルトランドセメントを硬化材料として使用されている為、耐酸性を要求される炭酸温泉、酸性温泉では劣化があり使用ができませんでした。当社玉砂利洗い出し工法『ミニトーン』は、耐酸・耐薬品性の優れたエポキシ樹脂を主成分に特殊に配合された特殊パウダーなどからなり、今まで不可能とされた酸性温泉、アルカリ温泉、いつもセメント劣化で問題のあった箇所の施工材料として、温泉、水回り景観アップに大いに期待される建材です。

使用箇所 ■浴室 ■酸性・アルカリ性温泉 ■炭酸泉 ■露天風呂 ■公園 ■アプローチ ■エントランス

工法名	ミニトーン-A工法(1~3分玉砂利)
配合比	<p>モルエポ主剤16%+モルエポ硬化剤19%+モルエポパウダー65%=100%(重量比) 上記配合に対し、乾燥珪砂6~7号0~10%以内で使用しやすい粘度に調節します。(各施工業者でご準備下さい) 乾燥玉砂利(1~3分玉砂利)120~140%(重量比)(各施工業者でご準備下さい。)を配合 ※硬化剤は分離している可能性があるのでよく振ってからご使用下さい。</p>
配合方法	<p>①練樽、練バケツ等にモルエポ主剤、モルエポ硬化剤を入れ良く混合攪拌します。 ②ホワイト・ライトグレー・ダークグレー・スーパーブラックは、①で混合攪拌した混合液に当社規定顔料を加え混合攪拌します。※GN(グレー)は顔料がパウダーに含まれています。 ③上記処理後の混合攪拌液に、モルエポパウダーを約半量ずつ2回以上に分けて混合攪拌します。 ④乾燥珪砂を入れ、上記配合内で使用しやすい粘度に調整します。※入れなくても結構です。 ⑤乾燥玉砂利を加えモルタル用ハンドミキサーを使い良く混練します。</p>
使用方法	<p>①練り上げた混練材を、床に金ゴテ等で塗り付け均します。 ②均し終え、表面が皮を張ってきましたら(5分~30分程度)、スポンジ又は馬毛ブラシを使用し、表面の目地材を取り除き玉砂利を洗い出します。 表面に出てしまった玉砂利は金ゴテで押し入れます。 ③その後極力、ブラシ、又はスポンジで軽く拭うように表面上の汚れ、水分を除去します。(この時点で仕上げ状態に収めてください) ④上記作業後、30分~40分経過後表面の仕上がりが気になる場合は、きれいなスポンジに水を湿らせ表面の汚れを軽く拭き取ります。</p>
使用上の注意	<p>■一度硬化すると絶対に除去できません。洗い出し時に確実に玉砂利の表面を出して下さい。 ■養生時間は24時間以上、浴槽内などの水に浸される箇所は48時間以上必要です。 ■油脂、ほこりが残っている箇所、水濡れ下地への使用は避けて下さい。 ■酸性温泉には石灰質素材の玉砂利の使用は避けて下さい。 ■手の届く範囲(2㎡程度)毎に施工し、完全硬化前の施工面に入らないようにして下さい。</p>
可使時間	約20~40分(作業環境の温度により大きく影響されます)
使用量	モルエポ使用量 1㎡=約9kg (厚み10mmの場合)



ミニトーン-B工法(2~3分玉砂利) <玉砂利先付工法>	
<p><玉砂利混練材> 乾燥玉砂利(2分玉以上)100%に対し、エポキシ樹脂EPファイン主剤4%+硬化剤2%(重量比) (玉砂利16kgに対し、EPファイン1kg程度) ※標準配合になります。石の大きさ、比重等で必要量が多少変わります。</p>	
<p><目地材(モルエポ)> モルエポ主剤16%+モルエポ硬化剤19%+モルエポパウダー65%=100%(重量比) 上記配合に対し、乾燥珪砂6~7号0~10%以内で使用しやすい粘度に調節します。(各施工業者でご準備下さい。) ※硬化剤は分離している可能性があるのでよく振ってからご使用下さい。</p>	
<p><玉砂利混練材> ①練樽等にEPファイン主剤、EPファイン硬化剤を入れ良く混合攪拌します。 ②上記混合攪拌液に乾燥玉砂利を入れ、樹脂が均一に付着するまでよく混練します。</p>	
<p><目地材> ①練樽、練バケツ等にモルエポ主剤、モルエポ硬化剤を入れ良く混合攪拌します。 ②ホワイト・ライトグレー・ダークグレー・スーパーブラックは、①で混合攪拌した混合液に当社規定顔料を加え混合攪拌します。※GN(グレー)は顔料がパウダーに含まれています。 ③上記処理後の混合攪拌液に、モルエポパウダーを約半量ずつ2回以上に分けて混合攪拌します。 ④乾燥珪砂を入れ、上記配合内で使用しやすい粘度に調整します。</p>	
<p>①玉砂利混練材を金ゴテ等で素早く均一に塗り付け(しっかりと押し入れて下さい)5~24時間養生します。 (作業環境の温度により硬化時間が大きく影響されます) ②養生時間経過後、硬化状況を確認、目地材をゴムコテで玉砂利が隠れるように目地部に押し入れるようにして均し塗りし、凹凸部分を埋め込みます。 ③均し終え、表面が皮を張ってきましたら(5分~30分程度)、スポンジや馬毛ブラシを使用し、表面の目地材を取り除き玉砂利を洗い出します。 ④その後極力、ブラシ、又はスポンジで軽く拭うように表面上の汚れ、水分を除去します。(この時点で仕上げ状態に収めてください) ⑤上記作業後、30分~40分経過後表面の仕上がりが気になる場合は、きれいなスポンジに水を湿らせ表面の汚れを軽く拭き取ります。</p>	
<p>■一度硬化すると絶対に除去できません。洗い出し時に確実に玉砂利の表面を出して下さい。 ■養生時間は24時間以上、浴槽内などの水に浸される箇所は48時間以上必要です。 ■油脂、ほこりが残っている箇所、水濡れ下地への使用は避けて下さい。 ■酸性温泉には石灰質素材の玉砂利の使用は避けて下さい。</p>	
<p><玉砂利混練材> 約20~40分(作業環境の温度により大きく影響されます) <目地材(モルエポ)> 約20~40分(作業環境の温度により大きく影響されます)</p>	
<p><EPファイン> 玉砂利16kgに対し、1kg(主剤668g・硬化剤334g) <目地材(モルエポ)> 2分玉砂利使用時 1㎡=5.3kg以上 3分玉砂利使用時 1㎡=8kg以上 ※ミニトーン使用量になります。</p>	

カラーバリエーション

ライトグレー、スーパーブラックほか
全5色のカラーバリエーション



GN
(グレー)



KN
(着色専用)



ホワイト
(顔料代別送)



ライトグレー
(顔料代別送)



ダークグレー
(顔料代別送)



スーパー
ブラック
(顔料代別送)

※ホワイト・ライトグレー・ダークグレー・スーパーブラックはKN(着色専用)に顔料を加えます。
 ※KNに顔料を入れずに使用した場合、仕上がりがまだらになります。(KNには顔料が入っておりません)
 ※ホワイト・KNは日光や温水等の影響で黄変する場合があります。
 ※掲載カラーバリエーションは印刷のため実際の色と異なります。